

令和3年度 環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果報告会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	
昨年度までの“環境整備”を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備”と“支援チーム派遣（事業化支援）”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：羽幌地域生物多様性保全協議会

活動地域：留萌振興局管内 8つの市町村

(天塩町・遠別町・初山別村・羽幌町
・苫前町・小平町・留萌市・増毛町)

活動におけるテーマ・キャッチコピー

海鳥(seabird) × **ゆたかな留萌地域**(ローカルSDGs)

= **留萌ローカルSeabirdGs**

活動団体紹介

羽幌地域生物多様性保全協議会 は

羽幌シーバードフレンドリー(SBF)

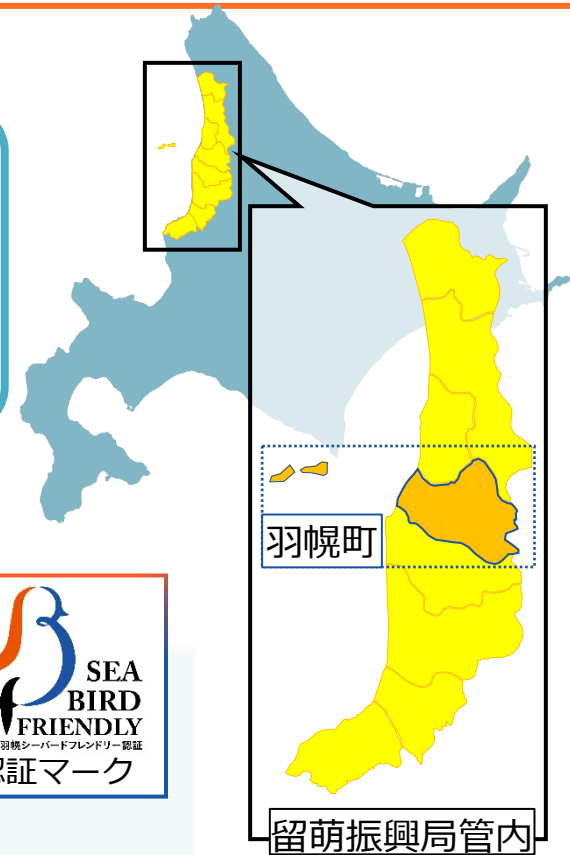
推進協議会の財務機関

羽幌シーバードフレンドリー推進協議会のHP：
<http://www.seabird-center.jp/sbf/index.html>

構成団体：羽幌町、留萌振興局、環境省
漁協組合、農協組合、地域の事業者、商工会
地域づくり団体、環境関連団体 など

SBF推進協議会の活動

- **SBF認証制度** (2017年～)
「**環境保全**」と「**産業振興**」の両立を目指す制度
環境に配慮した取り組みを行う事業者を認証し、
取り組みに共感した消費者が事業者の商品を購入する
- **地元高校と連携した環境学習** (2018年～)
「総合的な探求の時間」の環境教育 (年間 約30時間)

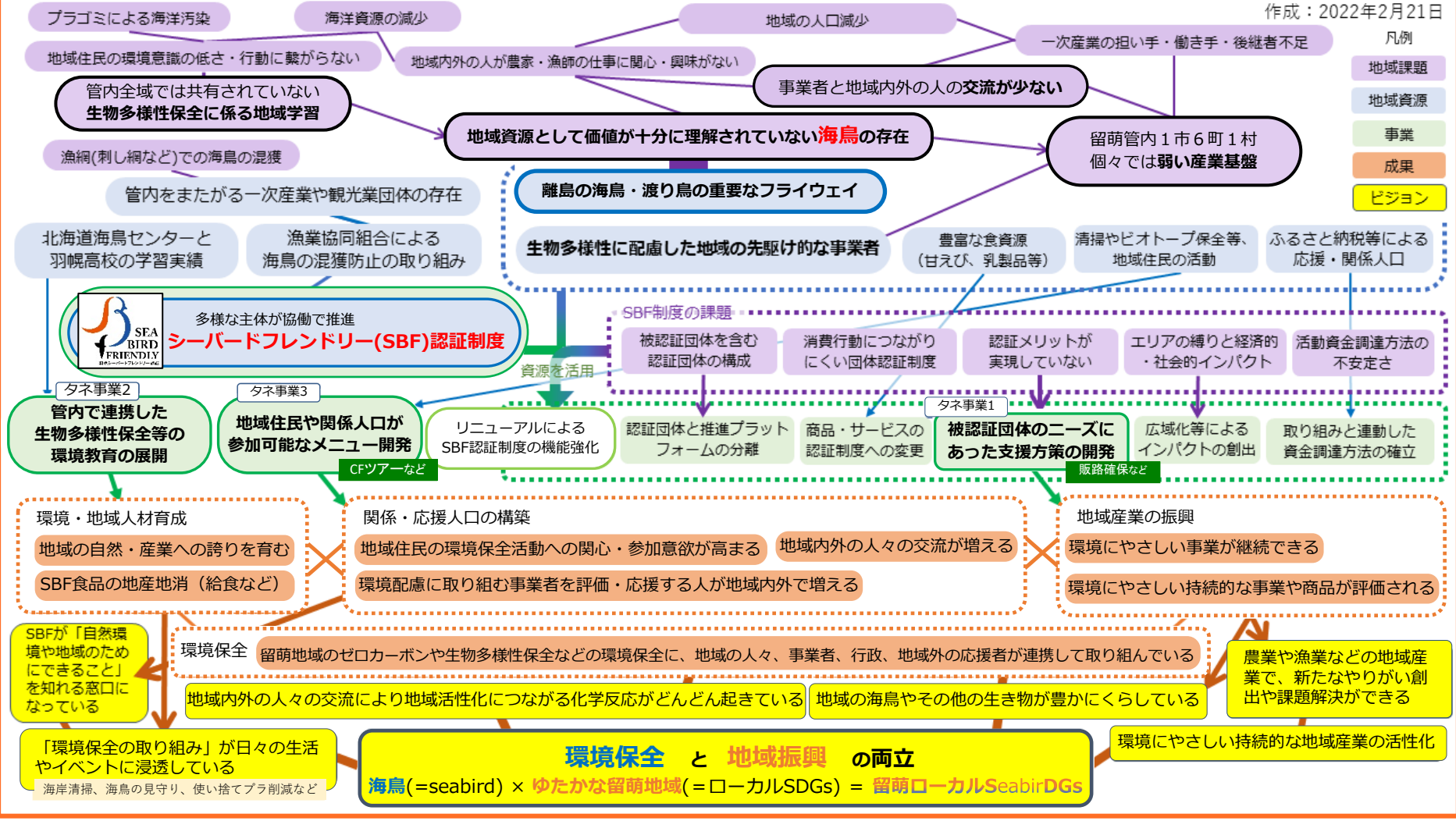


高校授業風景

地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

作成：2022年2月21日

- 凡例
- 地域課題
- 地域資源
- 事業
- 成果
- ビジョン



地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

【SBF認証制度の改良に向けた取り組み】

7月

- マーケティング・ブランディング研修
SBF認証事業者の経済的メリット創出のための勉強会

▶ 成果

以後、研修で学んだ**中間システム**を基にSBF協議会の体制を協議



10月・11月

- コウノトリと人とが共生する

先進地域の視察（鳴門市・豊岡市）

コウノトリ認証制度の運営体制、資金調達・運用方法、保全活動などを視察

▶ 成果

SBF認証制度の課題を認識

(=認証の“体制・対象・基準”や資金調達方法など)

→ **リニューアルによる認証制度の機能強化**に必要な取り組みが洗い出された



【地域プラットフォームの構築に向けた取り組み】

11月

● 地域産業の振興に向けた意見交換会

農業・漁業・酪農業の事業者

〈ヒアリング〉 環境に配慮した地域の先駆け的な事業者 が求めるサポート
〈意見交換〉 「環境に配慮した地域の事業者を応援するには？」

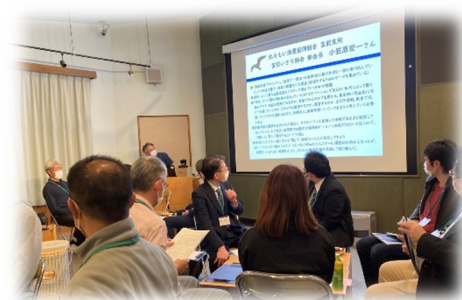
▶ 成果

事業者が求める支援

→ 応援・関係人口や情報発信(PR)が重要

気軽に人が集まり交流できる場

→ SBFプラットフォームづくりが必要



2月

● SBF推進協議会 年度末報告会

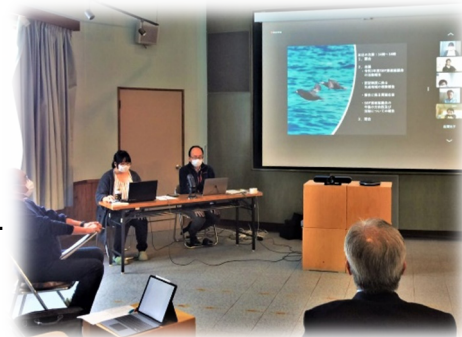
今年度の協議会の活動を報告

「留萌地域にとっての海鳥の重要性」と

「SBFが目指す地域づくり」と3つの事業のタネ」を共有

▶ 成果

今後の取り組みで重要なステークホルダーの方々の理解・協力を得られた
オンライン開催により、島の人々が初めて参加できた



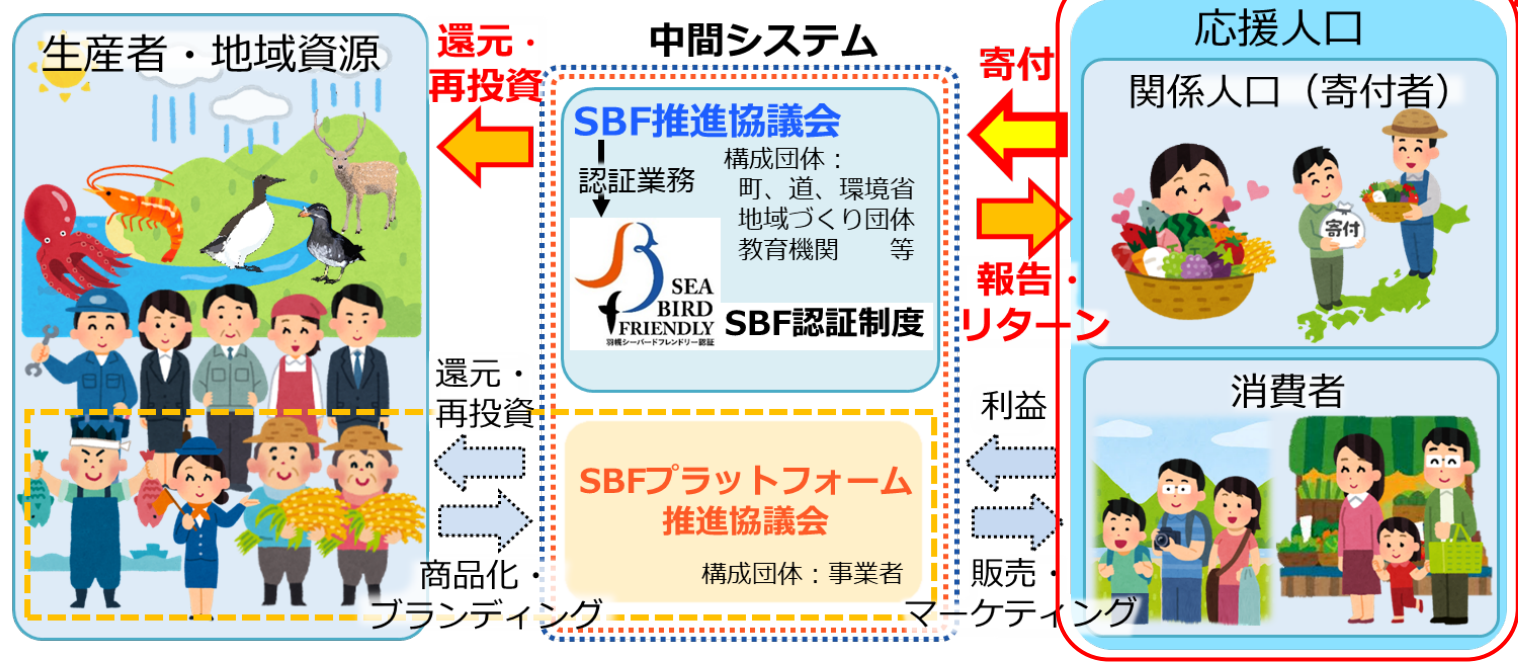
取り組みを通じた地域プラットフォームの変化

【中間システムの変化】

取り組みを通じての気づき

- **応援人口**は 消費者以外にも **関係人口(寄付者: GCFなど)**を含む
- 事業者が求める支援は 必ずしもマーケティングではない

▶After



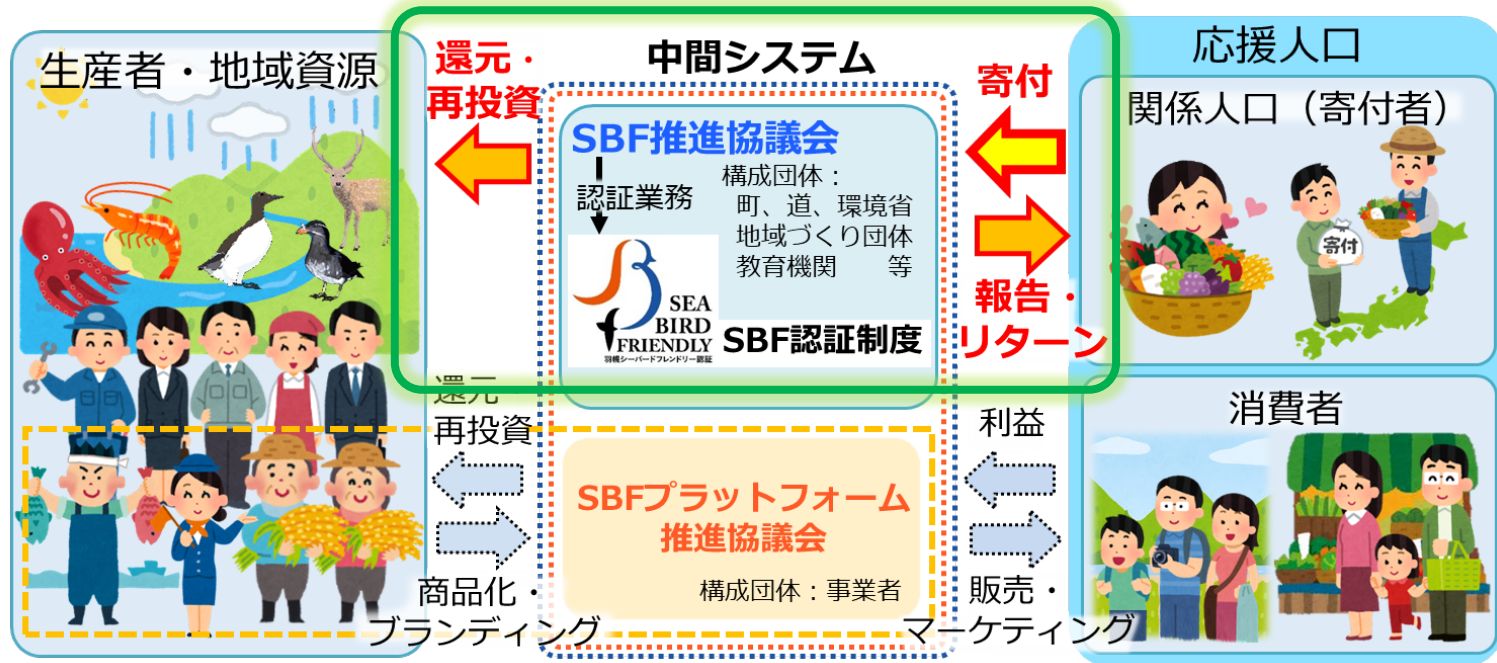
取り組みを通じた地域プラットフォームの変化

【中間システムの変化】

認証を行う**SBF推進協議会**と**SBFプラットフォーム**の分離

- **SBF推進協議会**…行政、地域づくりや環境関連団体などの事業者以外で構成
→ **SBF認証制度**の運営や**3つの事業**に取り組む
- **SBFプラットフォーム推進協議会**…認証制度を活用する事業者で構成
→ 認証商品の開発やマーケティングを行う

▶After



取組におけるボトルネックや新たに見えてきた課題

【認証制度のリニューアルで新たに見えてきた課題】

リニューアルメニュー

協議会と
プラットフォームの分離

- 課題
- ・協議会の事業に関わりたい
被認証事業者のフォロー

認証対象を変更
団体認証から
「商品・サービス」認証

- ・現在の団体認証と併用する？
- ・事業分野(農業、漁業、観光業etc...)ごとの**認証基準作り**が必要

被認証団体のニーズに
あった支援方策の開発

- ・それぞれの**事業者のニーズを把握**することが必要

認証対象エリアを
留萌振興局管内に広げる

- ・羽幌町の補助金(GCFの寄付金)などを管内事業の活動資金にできるか？

取り組みと連動した
資金調達方法の確立



今後の展望

【地域プラットフォームの構築に向けた取り組み】

2021年度にチャレンジしたいこと … SBF認証制度のリニューアル

ステークホルダーと「地域の未来」を語り、取り組みごとの役割分担やグループづくりを行っていく。また、関係人口のニーズや実態を把握する。

【話を聞きに行く】

3月 協議会構成団体にヒアリング
島のステークホルダーにヒアリング
～7月迄 GCF寄付者にヒアリング
業種別の認証基準作り

【地域のコンセプトを描く】

～8月迄 協議会の開催
～9月迄 意見交換会の開催

【事業のストーリーを語る】

～11月迄 プラットフォーム準備会
関係人口構築WG準備会
環境教育WG準備会

【みんなで目指す目標を立てる】

～1月迄 協議会の開催

その他、高校と連携した環境教育、環境活動・イベントの実施を進め、地域の自然や環境保全の取り組みについて普及・啓発を行っていく。